

各 位

2025年11月12日株式会社インプレス

思い通りの動画を AI で作ろう! 『「作りたい」をカタチにする動画生成 AI 基本からプロンプトのコツまでわかる!』を 11月12日(水)に発売

インプレスグループでIT関連メディア事業を展開する株式会社インプレス(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:高橋隆志)は、AIを活用して動画制作を行うノウハウがわかる書籍『「作りたい」をカタチにする動画生成AI 基本からプロンプトのコツまでわかる!』を2025年11月12日(水)に発売いたします。



■AI時代の動画制作ノウハウが1冊でわかる!

ChatGPTのようなテキストや画像を生成するAIがあっという間に身近なツールとなり、その次なる技術として動画を生成するAIへの注目が急速に高まっています。従来の動画制作は、専門知識や高価な機材、複雑なソフト操作が必要でしたが、動画生成AIの登場により、テキストや画像を入力するだけで、動画を手軽に生み出せる革命的な時代が到来しました。そこで、「作りたい」と思ったアイデアを動画にできることを目指し、AIを活用した動画制作に挑戦したい人に向けた書籍を刊行します。

■知識ゼロでも少しずつステップアップしながら学べる

本書は、知識ゼロの方でも、高品質な動画生成AI「Midjourney」を使いこなし、自らのアイデアをカタチにする技術を体系的に学べるガイドブックです。実際に動画を作りながら、AIを使った動画生成のコツやしくみを学んでいきます。ダウンロード特典のサンプル画像とプロンプトを使うことで、作例の再現性が高まるため、効率よく学習を進めることが可能です。本書では、シンプルな「5秒動画」の生成から、プロンプトのコツ、複数のカットを結合してショートストーリーを作る編集技術、そして最終的にはBGMつきのオリジナルの短編動画を完成させるプロセスへと段階的にステップアップします。さらに、Midjourneyの効率的なプラン活用法、ChatGPTやNano Bananaといった外部ツールとの連携術、音声生成やリップシンク技術、レイアウトや構図を調整する「プロンプト辞典」まで、制作の幅を広げる発展的な知識も網羅しています。

■本書は以下のような方におすすめです

- · 動画生成AIに興味があるが、何から手をつけていいかわからない方
- ・ 自分のイメージ通りの動画を作ってみたい方
- 従来の動画撮影などにハードルを感じている人
- ・ 自分のアイデアや描いたキャラクターをAIで動かしてみたい方

■紙面イメージ



見やすい手順で、迷わず操作しながらコツが理解できる

よくある質問 (FAQ)

Q: Proプランは本当に必要ですか?月66ドルは高く感じます。

A: あなたの制作スタイルによります。

もし、月に数本の動画を趣味で作る程度であれば、Besic ブランで十分です。しかし、 「これから本格的にたくさんの作品を作りたい。「コストを気にせず、かかくまで飲行問題。 たい」と考えているなら、Proプラン組織の投資によります。特に、無期限のリラックス クスモードは、あなたの部途性を縛る「コスト」という動から解放してくれます。まずは Besic ブランで始めて、Fest GPU Time の消費者を見ながらアップグレードを検討するの が開発です。

Q:今後、動画生成 AIサービスの料金は下がりますか?

A:動画生成AIの料金は、これから数年ほどで全体として下がる見込みで

計算用コンピュータが速く要くなり、AIの仕組みも効率化されるからです。ただし映 面を作成するよう点質性後とモデルは計算が悪く、値下げは今の3分の1程度が開発たラー 報告すます。対して観い機能を生現するローエンドのチンドルは10分の12は、全で下がる 可懸性が高いでしょう。電気代の高離や著作権対応の影響もありますし、日本の場合は円 安の影響で下げ幅がかさくなる場合もあります。「安くなる方向だが、どこまで下がるか は状況欠割、足質えないなのが安全であ

Q: 紹介された外部ツールをすべて使う必要がありますか?

A: いいえ、その必要はまったくありません。

むしろ、最初は復数のツールに手を出さず、Midjourneyを徹底的に使いこなすことをお勧めします。そして、「Midjourneyだけでは、どうしてもこの表現ができない。という壁にぶつかった時に初めて、その壁を撃すのに影道なツール(たよば「キャラクテーの8様だり変えたい。なら Cheory)を一つ致してみる、という進め方が良いでしょう。 道具備にたくそんの工具があっても、使いこなせなければ健康がありませんからね。

Q: VFX や特殊効果を生成したいのですが。

A: そうした分野が得意な動画生成 AI モデルを使いましょう。

Veoやhailuoは物理的な描写を再現するのが得意です。また、RunwayにはAlephという機能があり、すでに作成した動画にエフェクトを加えることができます。

Q: フェルト人形風だけでなく、実写風や2Dアニメ風のものにも挑戦したいです。

A:作りたい画風の画像を作って試してみましょう。

まずはMidjourneyの画像生成機能で実写風や2Dアニメーション風の画像を作ってみて ください。そして、それを他かしてみましょう。この書籍で設明した知識は実生風や2D アニメーション風のものでも活用できます。本書では再現性を保っためにフェルト人形風 の画像を授材によりたが、ぜひご自身が作りたい画風の動画にも挑戦してみてください。

Q: 3人以上が登場する動画も作ってみたいです。

A: AIに「誰が動くか」を明確に伝えましょう。

まず複数人が面面内に登場する場合、プロンプトを正確に記述する必要があります。特 に、面面内のキャラクターがプロンプトのどの部分に該当するのかを特確にする必要があ ります。具体的には、主菌部分でそのキャラクターの特徴を明確に指定してください。主 語を省くと全員が同じ動きをしてしまいます。

AIが認識しやすいキャラクター設定にする方法もあります。たとえばおばけとネズミ とネコのキャラクターなら遠いは明確ですよね。また、明確に異なる衣裳(他が明らたは う様子を使っている。など)を着せる方法もあります。いずれにせよ工夫が必要になりますが、 ザバが計行解説して始め見いまったがさい。

Q: 海外のツールばかり紹介されていますが、英語が苦手です。

A: 英語が苦手でも利用できるのでご安心ください。

最近のAIツールは、非常に直感的でわかりやすいインターフェース (u) になっている ものが多く、基本的な操作は足器の壁を影じたくいです。また、Google Chromeなどの ブラウザーに開催されている自動翻訳機能を使えば、ウェブサイト全体を日本語で表示 できます。さらに、ChatGPTのように日本都で直接指示ができるツールも増えています。 冒護の壁は、あなたが思うよりもずっと低くなっていますよ。

Q: 音声やリップシンクツールは難しそうですが、初心者でも使えますか?

A: はい、初心者でも簡単に使えます。

特にHodraのようなツールは、あなたが生成したキャラクターの画像を1枚アップロードし、喋らせたい情音ファイルを選ぶだけで、あとはAIが自動で自然な口の動きを生成してくれます。まずは無料プランで、あなたのキャラクターが遅り出すという小さな「魔法」を体験してみてください。そっとその楽しまに夢中にならはずです。

■本書の構成

第0章 動画を作りはじめる前に

第1章 まずは「5秒動画」を作ってみよう

第2章 画像の質が9割!良いスタートフレームの見極め方

第3章 思い通りにキャラクターを動かす「プロンプト」の技術

第4章 動画の続きを自然に生成する

第5章 複数カットを統合してショートストーリーを作る

第6章 BGM付きオリジナル短編動画を完成させる

第7章 動画生成AIの可能性を広げる5つの方法

第8章 制作のアイデアを広げ、作り続けるために

付録 構図や視点、レイアウトを自在に調整するプロンプト辞典

■書誌情報



書名:「作りたい」をカタチにする動画生成AI 基本からプロンプトのコツまでわかる!

著者: NOBU

発売日:2025年11月12日(水)

ページ数:208ページ

サイズ:**B5**判

定価:2,530円(本体2,300円+税10%)

電子版価格: 2.530円 (本体2,300円+税10%) ※インプレス直販価格

ISBN: 978-4-295-02319-7 ◇Amazonの書籍情報ページ:

https://www.amazon.co.jp/dp/4295023191

◇インプレスの書籍情報ページ:

https://book.impress.co.jp/books/1125101033

■著者プロフィール

トライできる!

NOBU

映像クリエイター/クリエイティブAIスペシャリスト

少年期に映画に魅了されて中学生の頃には映画監督を志す。学生時代はCG・アニメ・実写を横断的に学び、インディーズの短編映画の監督経験を通して映像の知見を深めた。その後は一度クリエイティブから離れて、ソフトウェアエンジニア兼デザイナーとして複数のスタートアップに関わり、その過程でプロダクト開発とシステム思考を体得。

2024年に動画生成AIと出会い、その可能性に確信を得て再びクリエイティブの世界へ。過去に培ってきた映像の知識と技術的な知見も掛け合わせた情報発信によってX(旧Twitter)のフォロワーを1年で1万人以上まで伸ばす。

現在はこれまでの全ての経験を融合させ「AIの特性を最大限に活かす」という思想のもと、独自のIP構築に挑戦中。

note: https://note.com/nbykos X: https://x.com/nbykos

以上

【株式会社インプレス】 https://www.impress.co.jp/

シリーズ累計 8,000 万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT 関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch シリーズ」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」をはじめとする企業向け IT 関連メディアなどを総合的に展開・運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、およびデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 https://www.impressholdings.com/

株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:塚本由紀)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当:丸山

E-mail: pr-info@impress.co.jp URL: https://www.impress.co.jp/

※弊社はテレワーク推奨中のため電話でのお問合わせを停止しております。メールまたは Web サイトからお問合わせください。